

(11) 先進地視察の報告

資料	頁
地域振興策検討委員会 先進地視察報告	2- (11) -1
笠間クラインガルテンパンフレット	2- (11) -14
笠間クラインガルテン説明資料	2- (11) -16
水戸市視察先位置図	2- (11) -24
水戸市植物公園パンフレット	2- (11) -25
水戸市植物公園イベントカレンダー	2- (11) -27
みずほの村市場パンフレット	2- (11) -29

印西地区環境整備事業組合次期中間処理施設整備事業

地域振興策検討委員会

先進地視察報告

日 時：平成 28 年 2 月 18 日（木）

訪問先：①笠間ラインガルテン

②水戸市植物公園

③小吹施設園芸組合（温室団地）

④みずほの村市場（農産物直売所）

視察者：地域振興策検討委員会委員：3名、関係市町職員：2名、事務局等職員：8名（コンサル2名含む）、吉田地区参加希望者：3名

1. 笠間クラインガルテン（10:40～11:30）



【説明】

■施設の概要

- 笠間市は、平成 18 年 3 月に合併した。人口は 77,000 人。笠間焼き、美術館などの観光の町。果樹栽培が盛んで、栗の栽培面積と農家数は日本一である。
- 総合計画において「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」を掲げ、豊かな恵みを実感できる農林業を振興。グリーンツーリズムなども実施している。
- 観光客が訪れる一方で、人口流出や高齢化、農地の荒廃が進む。地域住民と都市の住民が農業を通して交流し、地域の活性化を図ることを目的に、他地域に先駆けてクラインガルテンを整備した。クラインガルテンとしては、全国で 4 番目、関東では最初に整備された。
- 平成 6 年度に市職員の提案で着手し、7 年かけて農園施設、直売所が開設、平成 14 年に全体オープンした（詳細は添付資料のスライド 4 を参照）。調理設備（楽農工房）も整備しており、教室や、農産物の加工なども行われている。
- 場所は、以前は桑とタバコを栽培していた農地を借地して整備したもの。現在も地目は「農地」であり、宿泊施設も「納屋」の扱いとなっている。このため居住（住民票を置く）ことはできない。
- クラインガルテンは、都市生活のために菜園をもてない人を対象に小規模な菜園付き

の住宅を貸与するもの。人口減少傾向にある市の状況下、クラインガルテンの利用を機に、移住へとつなげられればと考えている。

■運営状況

- 年間利用料金は、クラインガルテン（宿泊施設付き）が全 50 区画で 1 区画 411,420 円（光熱費は別途、設置されたメーターで各々が支払う）、日帰り市民農園が全 50 区画で 1 区画 10,280 円。堆肥や農機具の修理代はこの中に含まれている。
- 平成 26 年 8 月に常陸農協が指定管理者となった。従業員は 11 名で、60 歳前後が多い。若い人も 2 名程度。全て地元からの雇用である。
- 指定管理の範囲は、クラインガルテン、蕎麦処、直売場の 3 つで、収益はクラインガルテンと日帰り市民農園の利用料金と、蕎麦処、直売場の売上げである。市からの委託費はなく、市の支出は修繕費程度である。

■利用状況

- クラインガルテンの利用規程は以下の通り。
 1. 笠間市民と積極的に交流をもてる者。
 2. 笠間クラインガルテンの年間活動プログラムに参加する意志のある者。
 3. 宿泊を伴う活動により、充実した菜園を目指す意志のある者。
 4. 市民農園区域における公益部分の共同作業（年 4 回程度）に参加できる者。
 5. 3 組以上の家族またはグループでの共同利用ができる者。
 6. 宿泊施設付き市民農園利用規程等を遵守できる者。
- 利用期間は最長 5 年（市民農園法で規定されている期間を採用）。
- クラインガルテンは、現在は全て契約済み。
- コミュニケーションをとることが目的であり、滞在中と引き上げ時は事務所に声をかけることをルールとしている。地元の方の指導による体験実習や、クリスマス会等の年 4 回のイベントと、必ず参加してもらい園内イベントを年 4 回実施。その他に、地元の交流につなげるため、日曜朝のラジオ体操や周辺ウォーキングも毎週実施。農作業のない冬場も教室等を企画して利用を促している。利用者の自主的な活動も活発で、周辺住民を招待したバーベキューや、車で約 10 分のところにゴルフ場でのゴルフコンペなども開催している。

■あいあい農園について

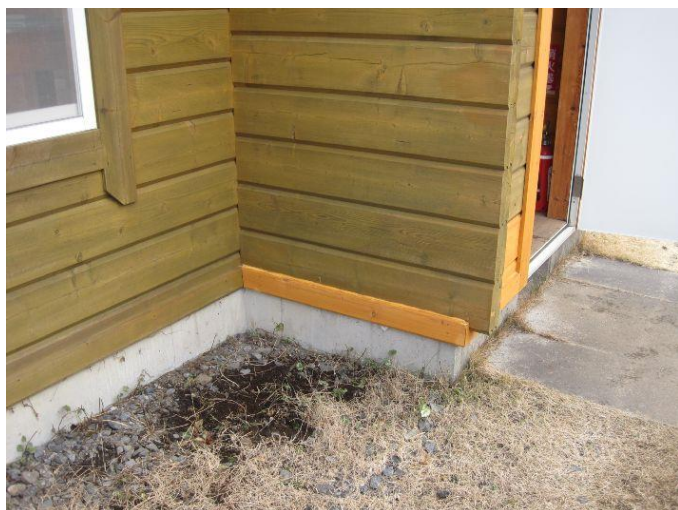
- 平成 23 年には、サポート付きリゾート農園「あいあい農園」が隣にオープンした。管理組合が運営管理する 30 区画の農園で、年間使用料は 1 区画 6 万円。オーナー制で、農作物を管理組合に作ってもらい、収穫だけを楽しむ趣旨。収穫の時期にイベントを開催して、楽しんでもらう。笠間クラインガルテンは協力という関係。

【質疑】



■ 苦勞した点

- 塗装、エアコンの交換等の修繕費がかかる。雨どいがないので、雨の跳ね返りがラウベ（小屋）の腐食の原因になっている。
- 応募の確保が課題。今年は19件の応募があったが、年々減少している。現在は唯一のPRがホームページであるが、その他のPRが必要。近年は東京で開催される移住交流会等に出展している。



■利用者の状況

- 田舎暮らしを紹介するサイトなどから、ホームページで探して来られるようだ。笠間クラインガルテンに決める理由は、東京の人は、交通の便がよいこと（2時間以内）、地域景観（山郷、見晴らし）を気に入って、などが理由となっている。
- クラインガルテンは、現在は各県に1～2個は整備されている。茨城県内にも3つあるため、特徴を出す必要がある。ここでは独自に、「交流」をキーワードに差別化を図っている。退職後のコミュニケーション機会の創出などで、夜のラウベでの飲み会を楽しみに利用している人もいる。
- 介護、転勤等の事情で1～2年で出る人もいるが、5年満了で出る人が多い。利用者の満足は得ているようで、5年以降も、新規と同じ条件で申し込めば利用できるようなっている。現在の住民も5～6組は再申請の人がいる。
- クラインガルテンの利用を機に笠間市を気に入り、貸家を見つけて住みたいという人もいる。しかしながら、借家は50坪程度の大きな家が多く、大きな家はいらぬという理由でまとまらないこともある。空き家バンクもあまり機能していないようである。地元の人の紹介で借りている人が1名いる。

■利用条件の設定理由

- 3組以上の共同利用としたのは、誰も訪れずに放置される期間を少なくするため。力作業も各自でやってもらう必要があるので、夫婦等での応募が望ましい。グループで申し込むことで、周知効果もある。
- 交流が目的なので、出席簿でチェックし、参加してもらえない人や農地の管理状況が悪い人にはイエローカードを出して注意している。具体的には、近隣のゴルフ場の利用を主目的にして、農園を利用しない人などがいた。

■離農・耕作放棄地対策の状況

- 笠間市では、果樹産地強化支援事業（栗苗植栽事業／梨苗植栽事業）を実施。栗、梨の安定生産に向けて、苗の更新、苗木の購入を助成している。
- 国の政策の下、飼料米、営農組織を作って放棄地の解消を勧めているが、クラインガルテンが放棄地対策に貢献できている状況までには至っていない。

■直売場の状況

- 野菜は、地元の生産者が持ち込んでいる。笠間市では、野菜は比較的何でも栽培できる。今はイチゴが多く、組合を作って販売している。ブルーベリー組合もあり、ブルーベリー狩りは笠間クラインガルテン（指定管理者の常陸農業協同組合）が申込窓口となって受け付け、農園を訪問してもらっている。
- 野菜の値段は出荷者が決めている。売れ残りは出荷者が引き取りとなる。

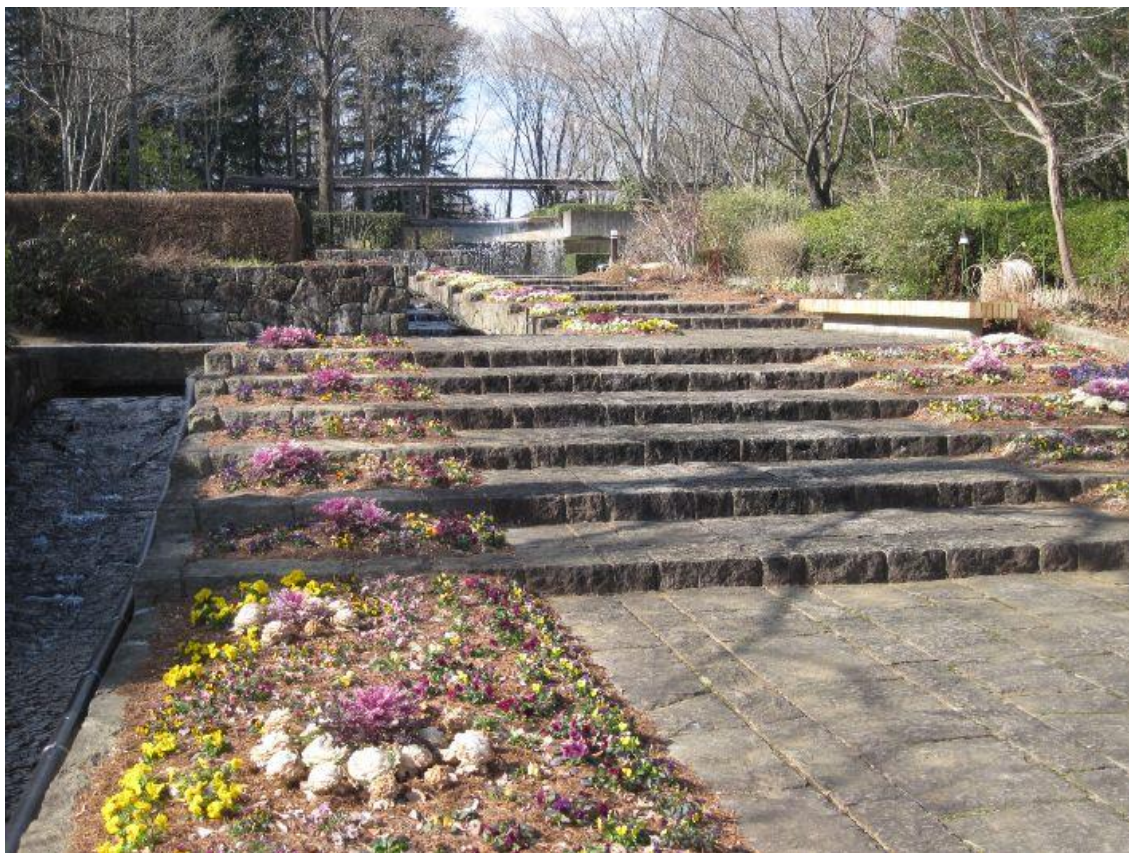
- 楽農工房（調理設備）で作られた季節の農産物を使った加工品も販売している。
- 直売場の利用者は主に周辺の住民で、近隣にある団地の人はスーパーを利用することが多い。車に乗れない近くの人は利用している。連休等にメインの通りが渋滞するため、裏道を通る人が利用したり、たまたま立ち寄る人もいるが、市内の観光ルートからは外れている。市内にも農協の直売場が2件あるのでそちらに行く人が多く、平日は閑散としている。市中心部から離れているので、合併後の市民は存在すら知らない人もいる。
- クラインガルテンで栽培した野菜も、年1回、七夕祭りで販売できる。お祭りに来た人が購入している。



■栽培講習会

- 地元の農家（元学校教諭）に、農業を教えていただいている。

2. 水戸市植物公園 (13:20~14:20)



【小吹清掃工場について】

- 昭和 59 年稼働。処理能力は 390t/日 (130t/日×3 炉)。水戸市ではごみ処理主体を 3 区分しており、そのうち水戸地区として、水戸市民の約 8 割、240,000 人分の可燃ごみ、年間約 118,000 トンを焼却している。
- 回収エネルギーの利用は、場内消費電力の発電と大型熱供給。
- 清掃工場が管理する余熱供給センターで、清掃工場からの低圧蒸気を熱交換器により温水に (105℃) に変換して、各余熱利用施設に供給している。(供給先：温水プール、植物園、大浴場付集会施設、園芸施設、清掃工場事務所)

【説明】

■施設の概要

- 昭和 62 年に開園し、平成 6 年までかけて少しずつ整備していった (昭和 63 年:売店・熱帯果樹温室完成、平成元年:薬草園整備、平成 6 年:植物館開館)。平成 28 年 4 月 29 日で 30 年目を迎える。
- 敷地面積は 8ha で、テラスガーデン、鑑賞大温室、熱帯果樹温室、博物館、芝生園、ロックガーデンなどで構成される洋風庭園。鑑賞大温室は、平成 63 年に日本造園学会賞

を受賞。

- 清掃工場の余熱利用を目的に、温浴施設に続いて整備された。



■運営状況

- 単市の植物園のため予算が少なく、職員 5 人、嘱託 3 人。園内の管理は民間に委託している。
- その他、目的に応じたボランティアを立ち上げている（薬草ボランティア、花と緑のボランティア、イングリッシュローズ手伝い隊など）。楽しく学び、イベントがあり、友達ができるなど、生きがいと学習力を高める工夫が継続のポイントとなっている。
- コンセプトは「植物園＋庭園（ガーデン）」。箱物は作れても、いかにソフトを作るかが重要なポイント。
- 入館者数は 5 万人／年。当初は 15 万人の入館者数を記録したが、県内には植物園も多く、常陸海浜公園などの施設も建設され、そちらに流れている。30 周年を機にイメージチェンジを図り、次の世代につなげたいと考えている。
- 使ってもらえる植物園を目指し、多数のイベント、教室、フリーマーケット等を開催している。植物館では講演会なども開催している。
- 直営（指定管理者制度ではない）。直営の植物園は全国でも 3 箇所くらいしか残っていない少数派だが、直営ならではのサービスができる。

■余熱利用状況

- エロフィン管※により鑑賞大温室、熱帯果樹温室を加温。設置後 30 年経過し、配管の老化が顕著。十分な予算がつきにくい中で、メンテナンスをしながら使用している。万が一のためのバックアップとして、ストーブも準備している。

※エロフィン管：管内に熱源（蒸気・冷水・温水等）を流し、管外の気体（空気）を加熱または冷却するもので、パイプ外面にフィン（リボン）を螺旋状に巻きつけ、伝熱面積を増大させたもの。

- 水戸は寒いので、別世界としての温室はよかったと評価している。地域性を踏まえ、適したものを考え出すことが重要。

- 東日本大震災で余熱供給が中止され、ボイラヤストーブで凌いだ経験を踏まえ、余熱があるからこそ運営できる施設であることを実感している。



3. 小吹施設園芸組合（14:45～15:15）



【説明】

■施設の概要

- 昭和 62 年に 10a (1,000m²) ×10 棟の温室を整備。敷地面積は 1.4ha。現在はトマトの水耕栽培を実施。(なお、余熱を供給しているもう 1 箇所の農業団地 (1.3ha) では、パプリカを生産している。)
- 近隣農家 5 人で組合を設立し、運営している。整備費に関しては、7/10 程度を国の補助で、残りを組合が負担 (約 2 億円)。
- 清掃工場までの距離は直線で約 400m。105℃の温水が清掃工場から配管で送られ、熱交換器を介し、80～65℃の状態各施設に温水として熱を供給している。
- 清掃工場から園芸施設敷地までの供給管を市が整備。施設内の熱交換器や配管は組合が整備。
- 熱の供給量は、「外気温が-11℃のときに 20℃に保てる」ことを条件として計算。
- 清掃工場の定期点検中は、熱供給は止まるが、その時期を夏季にしているため、熱供給が必要ないようになっている。
- 施設内の熱供給管は当初埋設していたが、メンテナンスのしやすさなどから、現在はむき出しにしている。



■ トマト栽培

- 昭和 62 年当時は地植えのメロンとトマトを生産していたが、メロンの連作障害等もあり、平成 18 年からはトマトの水耕栽培のみとした。このため、供給される熱は培養液の加温には利用できないため、灯油を焚いている。
- 8 月に定植し、11 月中旬から翌年 7 月にかけて収穫。室温は、昼間 25℃、夜間 13℃に設定。
- 1 棟の出荷額は年間 400 万円程度。今年は暖冬だったため、他地域の路地物が 11 月まで出回っており、出荷時の価格を低く設定せざるを得なかった。



■ 清掃工場の移転後の予定

- 4 年後の移転に備え、代替の加温設備を入れるか、熱を使わない別の作物にするか検討している。

4. みずほの村市場（16:30～16:45）



■施設の概要

- 味の良い安全な農産物の提供をコンセプトに設立された純民間の農産物直売場。
- 全国直売所甲子園 2013 優勝（農林水産大臣賞受賞）
- 野菜のほか、お肉や加工品、花卉も販売。日常的な食材の種類も豊富に揃っている。
- 価格競争を避けるため、新規出品者は、それ以前の出品者の価格を下回ってはいけないというルールがある。
- 年間利用者数 25 万人。売上高は年間 6 億円。（平成 20 年実績）
- 近隣に大規模なショッピングモールがあるにも係らず、多くの人に利用されている。
- みずほ会員制度を導入。会員数は 1 万三千人（平成 20 年実績）で、概要は以下の通り。
 - ①年会費 1,000 円。
 - ②10%割引：購入金額ごとに 10%のポイントが加算され、1000 ポイントたまると、1000 円割引。
 - ③プレゼント進呈：入会時に 500 円相当のプレゼントを進呈。



体験コーナー

笠間クラインガルテンでは、季節を通してさまざまな体験が出来ます。今度の休日には、ご家族でぜひ体験してみてくださいいかがですか？

春

いちご狩り(1月～5月) **たけのこ掘り(4月～5月)**
 地元の生産者が丹精こめて生産した、とちおとめ・女峰などのイチゴ狩りができます。また、地元産イチゴを使用したジャム作り体験もできます。

夏

ブルーベリー摘み取り(6月～7月) **ホタル鑑賞(6月～7月)**
 ブルーベリー摘み取り体験もできます。吾国山の麓に「ホタルの里」があり、源氏・平家ホタルがたくさん飛んでいます。

秋

りんご狩り(10月～12月) **栗ひろい(9月～10月)**
 多種の品種が揃ってあり、長い期間楽しむことができます。実りの秋、皆さんで味賞を楽しんでみませんか。

通年

感謝祭(年4回開催) **そば打ち**
 日頃の感謝の気持ちをおこめて、野菜果物の特売やももつき大会などのイベントを開催します。職人の指導のもと、おいしいそば作りを体験できます。

バーベキュー施設 **ジャム作り**
 準備は予約のみ。手ぶらでバーベキューが楽しめます。収穫した果物などで、ジャム作りが体験できます。

楽農工房 (農産物加工施設)

自然のおいしさをつめこみました。

いちご・うめ・ブルーベリー・りんご・さやさい・ヤーコンとも多く(季節限定)等丹精込めてジャムに加工いたしました。



最優秀賞
 平成7～26年度農産物加工コンクールで最優秀賞受賞

炭工房 (炭焼き施設)

農村資源の有効活用

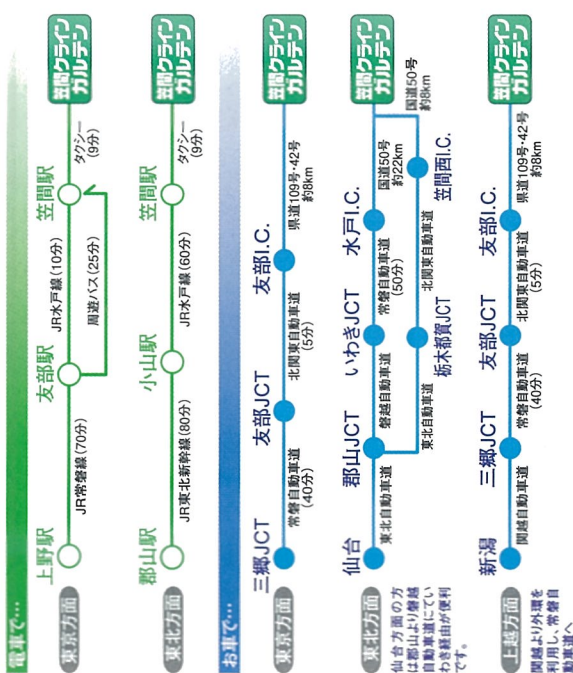
旺盛な繁殖力をもつ竹は、農地や山林に広がりをみせ深刻化しています。この施設には、農村資源の有効活用や竹炭等の普及を図るため、簡易ドラム缶方式による窯を6基備え、どなたでも簡単に体験が楽しめます。



KASAMA 周辺マップ



交通のご案内



季節と歴史を味わう

笠間クラインガルテン

田舎暮らしと共生



JA常陸 茨城県笠間市

《管理運営主体》常陸農業協同組合
 《お問合せ先》笠間クラインガルテン事務所

〒309-1633 茨城県笠間市本戸4258 TEL:0296-70-3011 FAX:0296-70-3211
 (URL) <http://www.city.kasama.ig.jp/karten/index.htm>
 (E-mail) k-garten@plala.or.jp

自然と
ふれあう

農村体験



クラインガルテンとは、ドイツ語で「小さな庭」。日本では主に「市民農園」を意味します。ドイツを始めとしたヨーロッパ諸国で、都市生活のために庭をもつことができない市民のために作られた農園です。農園にはラウベと呼ばれる小屋と芝生、花壇、畑などが配置されます。



また、利用者どうしが集うクラブハウスなどが整えられており、単なる菜園ではなく、コミュニティ形成の場として市民生活向上のため重要な役割を担っています。

笠間クラインガルテンは、野菜のおいしさ、つくる喜び、土の香りから生まれる「食」の感動が思い出さることを伝えたい。

笠間は笠間焼に代表される観光と芸術・歴史、300年の大槻と山桜、堂の里など自然と環境に恵まれた土地です。

笠間型のライフスタイルを楽しんでいただくことを提案しております。

利用者の資格

- 宿泊施設付き市民農園
 - ① 宿泊を伴う活動により、充実した菜園を目指す意志のある方
 - ② 笠間市民と積極的に交流を持てる方
 - ③ 笠間クラインガルテンの年間プログラムに参加する意志のある方
 - ④ 市民農園区域における公益部分の共同作業(年に4回程度)に参加できる方
 - ⑤ 3組以上の家族またはグループでの共同利用ができる方

日帰り市民農園

- ① 充実した菜園を目指す意志のある方
- ② ③、④は(宿泊施設付き市民農園)と同様

利用の申し込み

- 利用希望者は、所定の利用許可申請書及びアンケート用紙に必要事項を記入の上、代表者の履歴書とともに申込むものとする。
(履歴書は市販の物で可)
- 申込みは郵送もしくは持参するものとする。
- 所定の区画の希望はないものとする。

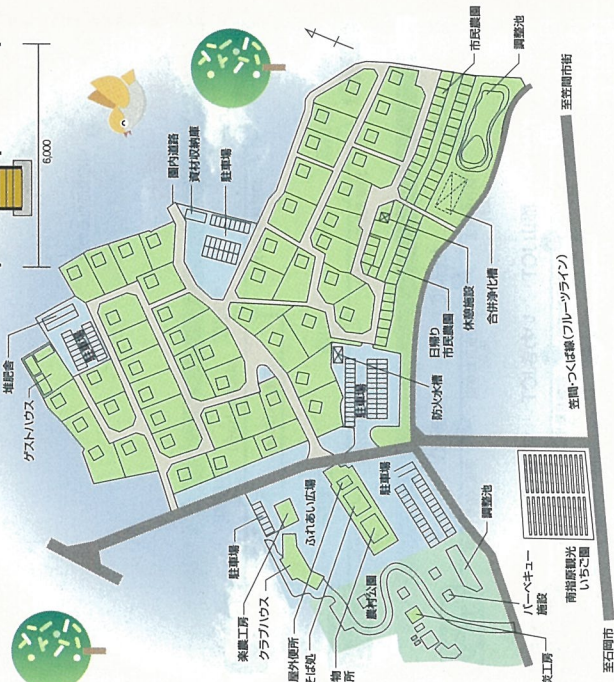
宿泊施設付き市民農園

50区画

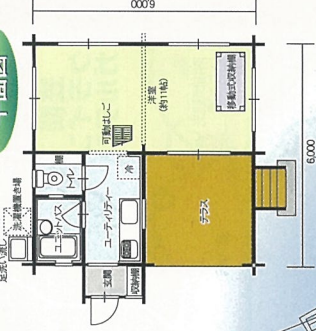
- 1区画が約300㎡の土地に約37㎡のラウベ(簡易宿泊施設)と各100㎡の菜園・芝生があります。
- 利用期間は、1年単位(4月～翌3月)で最長5年間利用可能です。
- 年間利用料はお問い合わせください。
- ラウベにはキッチン、風呂、トイレ、ロフトがついています。
- 一般用:49棟
- 身体障害者対応型:1棟
- ガストハウス:3棟
- 農業体験をした方及びガールテン利用者の宿泊施設です。



配置図



平面図



日帰り市民農園

50区画

- 1区画が約30㎡の菜園、施設には水道、休憩所があります。
- 利用料金はお問い合わせください。(利用期間は1年単位)



農産物販売所

(産地形成促進施設)

- 営業時間 8:00～17:00
 - 定休日 毎週月曜日
- 地元生産者が生産した朝取りやさい、山菜・果樹・きのこのなどの農産物と、みそ・漬物・もちなどの加工品を販売しています。また、フォトクリームも好評です。 ☎0296-70-3133



そば処

(地域食材供給施設)

- 営業時間 11:00～16:00
 - 定休日 毎週月曜日
- 笠間産の常陸秋そばを使用した本格的な手打ちそばと旬の山菜、野菜のてんぷらを笠間焼の器でご賞味いただけます。また、そば打ち体験もできます。 ☎0296-70-3022



※季節により素材が替わる場合があります。

クラブハウス

(地域農業活性化施設)

施設案内・情報提供等を行う管理事務所を中心に、講演会や会議、集会等最大で80人を収容できる多目的ホール。また、ジャム、そば打ち体験などができる調理室。読書コーナーなど笠間クラインガルテンの中核的施設です。 ☎0296-70-3011





1. 笠間市農業の概要

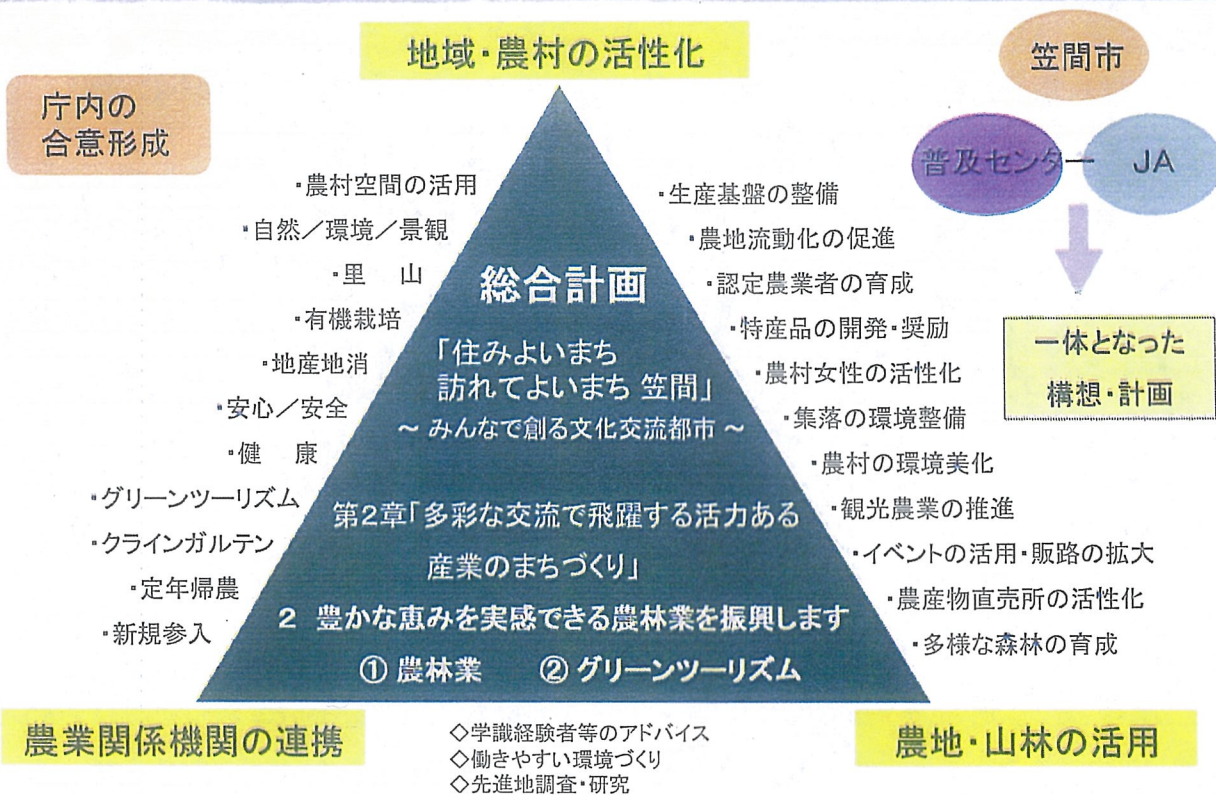
○農業の推移

	農家数	経営耕地面積	耕作放棄地
2000 (H12)	5,043戸	4,538ha	511ha
2005 (H17)	4,669戸	4,170ha	792ha
2010 (H22)	4,374戸	4,051ha	769ha

資料: 農林業センサス



2. 笠間市農政の基本理念



3. 笠間クラインガルテン建設の経緯

- 平成6年度 「笠間市農業活性化基本構想」策定 ※都市部との交流
- 平成8年度 「クラインガルテン構想」庁議提案
- 平成9年度 「クラインガルテン基本計画」策定、「笠間市第4次総合計画」策定
- 平成10年度 農業構造改善事業認可 申請
- 平成11年度～平成12年度
農村資源活用農業構造改善事業 実施
県北西部いきいき農業推進事業 実施
- 平成13年度 4月 一部オープン(農園施設, 農産物直売所, そば処)
中山間総合整備事業 実施(事業主体:茨城県土地改良事務所)
- 平成14年度 4月 全体オープン(クラブハウス, その他)
- 平成17年度 18年3月 指定管理者制度により
JA茨城中央に管理運営移管(農産物直売所, そば処)
- 平成19年度 4月 " (全体管理運営移管)
- 平成22年度 4月 多目的交流施設(ゲストハウス)利用開始

4. 事業概要

総面積：約4ha

総事業費：約8億4千万円

年度	事業名	整備施設	事業費	補助率
平成 11~12	農村資源活用農業 構造改善事業	宿泊施設付き市民農園50区画 日帰り市民農園50区画 農産物直売所 そば処	約6億円	$\frac{60}{100}$
12~14	中山間地域総合整備 事業 (県土地改良事務所)	クラブハウス 屋外交流広場 農村公園	約2億円	$\frac{85}{100}$
12~13	県北西部いきいき 農業推進事業	炭焼き施設 ジャム加工施設	約3千万円	$\frac{50}{100}$
21	地域活性化・経済危機 対策臨時交付金事業	多目的交流施設(ゲストハウス)	約1千万円	$\frac{100}{100}$

5. 笠間クラインガルテン全体図

総面積：約4ha(3.5ha借地)



6. 宿泊施設付き市民農園（クラインガルテン）

【宿泊施設付き市民農園】

- ◇全50区画
- ◇1区画約300㎡（ラウベ37㎡）
- ◇利用料金 年間411,420円
- ◇利用期間 最長5年まで更新可能
（契約は1年単位）

各区画に設置された
笠間焼のモニュメント



7. 有機無農薬栽培のサポート

【日帰り市民農園】

- ◇全50区画
- ◇1区画約30㎡
- ◇利用料金 年間10,280円

【栽培講習会】

- ◇毎週日曜日、地元農家による講習会と巡回指導を実施。

【資材収納庫】

- ◇農機具を無料で自由に利用できる。

【堆肥舎】

- ◇ストックされている牛糞堆肥を無料で使用できる。



日帰り市民農園



栽培講習会



堆肥舎



資材収納庫



8. 付帯施設



9. 笠間クラインガルテンの理念

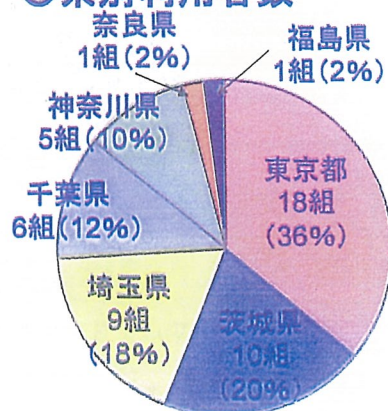
- ①都市住民との交流により、地域の活性化と農業振興を図る。
- ②多様な農村空間（自然・里山・農地等）の利活用を図る。
- ③「農」「土」を介し、地産地消、安全安心、食の展開を図る。
- ④歴史・文化・芸術等、知的資源との融合を図る。



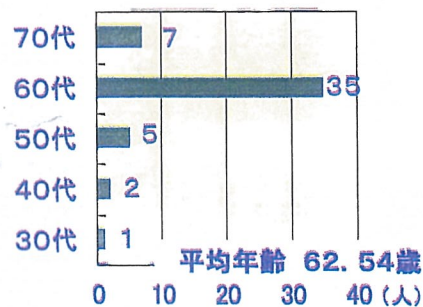
10. 宿泊施設付き市民農園の利用状況

(平成27年4月現在)

○県別利用者数



○利用代表者の年齢層



○利用申込み状況

年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
区画数	50	13	6	8	11	18	9	16	6	8	14	12	17	13	13
応募者数	78	38	23	21	16	50	50	37	62	32	34	17	20	17	19
倍率	1.6	2.9	3.8	2.6	1.5	2.8	5.6	2.3	10.3	4.0	2.4	1.4	1.2	1.3	1.5

11. 日本一のクラインガルテンを目指して

●取り組み・工夫

- ①目標設定「日本一のKG」
- ②滞在者表示板
- ③ホームページの更新
- ④周辺資源を活用した農業体験
- ⑤来園者のもてなし
- ⑥園内の装飾・環境整備



0191959



12. 農園利用者対象の様々なイベント

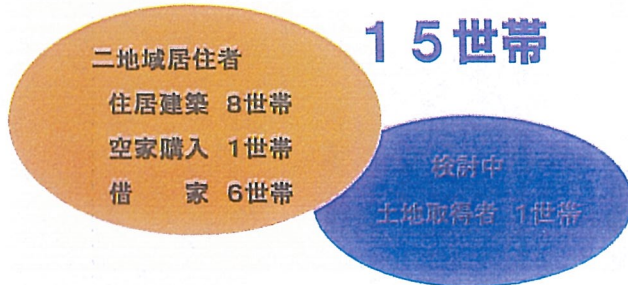


13. 農園利用者の自主的な活動



14. 新たな動き

● 笠間クラインガルテンを利用後の移住等



● 笠間サポート倶楽部を設立



クラインガルテン卒業生を中心に、
笠間市のPRやイベントをサポート
平成25年度 7組



15. 元気な中山間地づくりを目指して

都市から田舎へ

● 人生80年、定年後20年
(ハッピーリタイア)...

● 団塊の世代 700万人

田舎の選び方チェックリスト (ふるさと情報館長 佐藤 彰啓)
① 郷里から150km圏内
② 見晴らしの良い場所
③ 寒すぎないこと
④ 星空がくっきり見える
⑤ 敷地面積250坪以上 果樹栽培が可能なこと
⑥ 別荘地ではなく、 集落の中でもない
⑦ 生活環境が整っている
⑧ 土地価格1,500万円以下

都市と農村の交流

☆ 健康
☆ 知的鑑賞
☆ 自然・癒し

笠間市は...
① 首都圏100km圏内
② 里山がある
③ 芸術・文化がある
④ あらゆる作物が栽培可能
⑤ 比較的アクセスがよい

笠間クラインガルテンの
人気の要因

農村地域

- ◆ 農業従事者の高齢化
- ◆ 耕作放棄地の増大
- ◆ 山林・農地の荒廃

《都市住民の活力を生かす》

- 社会貢献、ボランティア意識
- 耕作放棄地、山林対策
- 間伐材の利用促進
- KG入居者のニーズ

視察先位置図【水戸市植物園（観賞大温室・熱帯果樹園）、小吹施設園芸組合】



携帯電話
アクセスはこちら



開園時間
AM9:00～PM5:00 (入園はPM4:00まで)

休園日
毎週月曜日 (祝日または振替休日のときは翌日)
年末年始・12/29～1/3

入園料

区分	個人	団体 (30人以上)	回数券 (6回券)
・小学生 ・市内高齢者 (本市等に居 住する60歳以上の者)	150円	100円	750円
・一般 (上記以外の者)	300円	250円	1,500円

本市等とは、水戸市及び安中市・ひたちなか市・那珂市・茨城町・大洗町・城里町・
東海村の6市町村です。

※ペットを連れての入園、ボール遊びはご遠慮ください。



交通機関

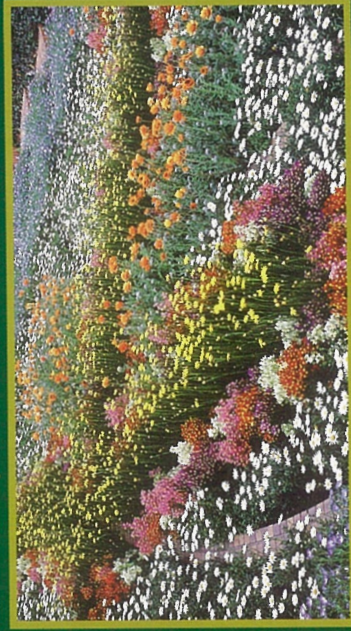
- 水戸駅からバスで.....30分
(関東鉄道バス・市立競技場又は植物公園行・植物公園下車)
- 常磐自動車道水戸I.Cから車で.....15分
- 北関東自動車道水戸南I.C茨城町東I.C
茨城町西I.Cから車で.....20分
- 水戸駅及び赤塚駅から車で.....20分 (タクシー料金約2,000円)
- 徳川博物館から車で.....10分 ● 茨城県庁から車で.....5分
- 偕楽園から車で.....15分 ● 大洗海岸から車で.....35分

※無料駐車場完備



水戸市植物公園

〒310-0914 茨城県水戸市小吹町504
☎029・243・9311 FAX 029・241・1211
<http://www.mito-botanical-park.com>



植物公園の概要

植物公園は、テラスガーデン・観賞大温室・熱帯果樹温室・植物館・芝生園・ロックガーデンなどから構成された洋風の庭園です。熱帯から亜熱帯までの植物が見られる観賞大温室と熱帯果樹温室、周辺の自然に合わせて野草を植えたり、水面を多く取り入れ、水の流れをつくり出すなど、自然美と人工美の調和した景観が大きな特徴です。

また、観賞大温室等の暖房に清掃工場の余熱を利用していていることも特色の一つです。

- 面積/80,000㎡ ● テラスガーデン/1,500㎡ ● 観賞大温室/1,561㎡
- 熱帯果樹温室/342㎡ ● 植物館/572㎡ (FLORAL GALLERY)
- 芝生園/8,700㎡ ● 湿生花園/2,000㎡ ● 水面/7,000㎡
- 樹木/28,000本 ● 草花/146,000本 ● 温室/15,000本 (500種類)

花ごよみ

春	夏	秋	冬
4～5月 ムラサキハナナ フジ ハンカチノキ ジキタリス 5～6月 クリノキ ナスターチウム ルビナス ハナシヨウブ リシマキア キンシバイ	7月 スイレン アサザ キボウシ ヘメロカリス 7～8月 ハンゲシヨウ カンナ 熱帯スイレン コウホネ インパチエンス	9～10月 秋咲き宿根性サルビア ・ファルシニアセージ ・ハイナップルセージ ・メキシカンセージ : コバルトセージ など 11月 紅葉 ・カツラ ・モミジバフウ ・ラクウショウ ・メタセコイア	12～3月 温室 ・カエンカズラ ・ヒスイカズラ ・球根ベコニア ・ラン ・ハラリアアナナス 屋外 ・スノードロップ ・クリスマスローズ ・ミズバショウ

※詳細はお問い合わせください。



①フジ
(4月下旬～5月上旬)
桃色がかかったフジの花は
珍しく、5月連休頃が
見ごろです。



②ハンカチ/キ
まるで白いハンカチのよう
な花が咲きます。
(5月上旬)



③秋咲き宿根性サルビア (10月～11月上旬)
園内の各所で珍しいサルビアが満開になります。



④ヘレボルス/クリスマスローズ (3月～4月)
喫茶フィオレンテのまわりで満開になります。

GARDEN MAP



⑦テラスガーデン
四季折々の花が美しい



温室の ヒロイン



⑤ネベンティス (常設)
虫を捕まえて自らの栄養分にします。
太陽と湿度が大好き。



⑥ヒスイガズラ (3月～5月)
翡翠色の花房は、何とも神秘的
で公園で一番の人気者です。



⑧ロックガーデンとあすまや
広々とした芝生園の丘のうえにはユニークな形の休憩所



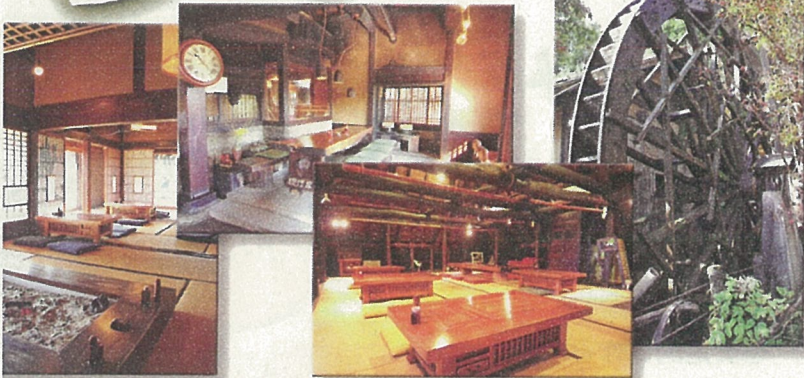
⑨植物館/植物をテーマにした展示会や講座が開かれます。



村の元気が集まった
地元の種れたて、作りたて

みずほ 村市場

蕎麦 蕎麦舎



蕎麦舎(そばや) Tel.029-886-5006
[営業時間] 11:00 ~ 20:00 年中無休(1月1日~4日を除く)



毎月開催 イベント

みそかそばかい 毎日蕎麦会

要予約

弾 ~はずむ~

予約優先

毎月最終土曜日夜に開催。
世界で一番「挽きたて、打ちたて、茹でたて」の
日本そばと野菜料理のコースが楽しめます。

料金 一人3,000円
時間 18:00~20:00 終了

毎月第4日曜日に開催。
Jazzの生演奏をBGMに日本そばと
野菜料理のコースが楽しめます。

料金 一人3,500円
時間 18:00~21:00 終了
最終入店 19:30 最終注文 20:00

みずほの歩み

1990	みずほ設立
1994	銀座に水田を作り一大イベント開催
1999	水車小屋・農産物加工所開設
2000	10周年記念 蕎麦舎オープン
2004	長谷川社長「直売所が農村を変える」出版
2008	JGAP団体認証取得 第37回日本農業賞・特別部門第4回「食の架け橋賞」優秀賞受賞
2009	いばらき産業大賞「奨励賞」受賞
2010	20周年特別企画「畑地からのメッセージ」開催 長谷川社長 大日本農会より「緑白綬有功章」受章
2011	東日本大震災 原発事故による放射能汚染を受けて農産物の放射能測定開始
2012	長谷川社長「このままでは直売所が農業をつぶす」出版
2013	全国直売所甲子園2013優勝 / 農林水産大臣賞受賞

イベント案内

1月	湯清めの神事 食と農の交流会 / ならせ餅
2月	旧正月 / 節分
3月	みずほの日
4月	マグロ解体ショー / 春の花畑
5月	みずほ会員様への苗プレゼント / 米作り体験(田植え)
6月	米作り体験(籾取り)
7月	七夕飾り / ひまわり迷路&夏野菜収穫体験
8月	ひまわり迷路&夏野菜収穫体験
9月	米作り体験(稲刈り) / 旬を笑顔・食感・体感!
10月	みずほの村まつり / 秋の花畑
11月	新嘗祭(かかし祭り)
12月	年越し蕎麦販売 / 会員様にオリジナルカレンダープレゼント

アクセス



(株)農業法人みずほ 〒305-0842 茨城県つくば市柳橋496
Tel.029-856-1090 Fax.029-856-2233

[営業時間] 9:00~19:00(4月~9月) 9:00~18:00(1月~3月,10月~12月) 年中無休(1月1日~2日を除く)

みずほ農業経営者会

私達は生産者です。農業に意欲と誇りを持っています。

「会員相互の協力と自己主張と自己責任を基に消費者との信頼関係を構築することにより経営の安定的向上を図り、地域社会と共生してその発展に寄与する」ことを目的としたみずほ農業経営者会です。



みずほ 会員募集中

みずほの村市場でお買い物するならオトク!

- 年会費1,000円 ●入会時に500円相当のプレゼント
- [特典]お買い上げ金額(税抜)の10%がポイントとして加算されます。1,000ポイント(1,000円)単位で割引することが出来ます。
- ※忘れると加算することが出来ませんので必ずご持参ください。
- ※期限が切れたカードは更新していただくポイントはそのままです。
- ※年3回のダイレクトメール発送

<http://www.mizuhonomuraichiba.com/>